

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 望海荘

目標達成計画書

作成日: 平成 30 年 7 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	法人全体の避難訓練を年2回実施しているが、特に夜間帯、夜勤者1人で9人の利用者を安全な場所に避難誘導するために、職員全員が自信を得るまで繰り返し訓練を行う。また、台風や地震についても体制を整え、準備していく。	法人全体での訓練に加えて、グループホーム単独での夜間想定訓練を繰り返し行い、利用者を短時間で安全に避難誘導出来るスキルを各自が身に付けていく。台風や地震等の災害時の対応マニュアルを確認し、日頃から意識づけを行っていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテランの職員が多く、チームワークの良い安定した職場環境であるが、将来の展望を見据え、若手職員の育成に力を注ぎ、質の向上と意識の高揚に繋げていく。	職員の経験や習熟度に合わせ、外部の研修に職員を派遣したり、資格取得を促すなど、職員が目標を持って、日々の仕事に取り組めるよう、配慮していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。